

- ◇明けましておめでとうございます。今年も本誌へのご愛顧をお願いいたします。
- ◇山本会長の巻頭言は、「みんな言ってるよ。」と題するもので、バイアスのかかった情報が氾濫する現代では、分析に携わる者にとって「客観視」が大切であると述べられています。信じるに足る情報を羅針盤に社会の荒波を乗り越えたいものです。
- ◇【入門講座】と【ミニファイル】は新シリーズ「精密な定量解析を支える網羅分析：基礎技術から実践的应用まで」。「Abbreviation in 分析化学（分析化学で使われる略号）」がそれぞれ始まりました。網羅分析では“包括的な理解”が求められており、また、分析化学で使われる略号には異なる意味をもつものも多いので、ぜひご一読ください。
- ◇【リレーエッセイ】は、鹿児島大の児玉谷先生にご執筆頂きました。本文に登場するメチル水銀は水俣病の原因物質で、学生時代に受けた公衆衛生学の特別講義を思い出しました。
- ◇2026年の表紙は久保田哲央委員の作品で、江戸天保年間に蘭学者宇田川榕庵が泉質調査のために熱海温泉で採水した様子を想像してコミカルに描いています。
- ◇今年も皆様にとって良い年となりますよう祈念しています。
[S. K.]

〈とびら〉

20年ぶりに若手の会に参加して……………菅原 一晴

〈入門講座〉 精密な定量解析を支える網羅分析：基礎技術から実践的应用まで
LC/MSの網羅分析への使用事例……………高橋 豊

〈解 説〉

質量分析用機能性誘導体化試薬を活用した

生体内生理活性分析への応用……………小川 祥二郎

〈ミニファイル〉 Abbreviations in 分析化学（分析化学で使われる略号）
溶液 NMR で使われる略号②……………田代 充

〈話 題〉

表面から始まるイオン化の新展開

— SALDI/MS の進化と可能性 —……………大坂 一生

◇ 編 集 委 員 ◇

〈委員長〉	四宮 一 総	(日本大学)			
〈副委員長〉	稲川 有 徳	(宇都宮大院地域創生科学)			
〈理事〉	山口 央	(茨城大理)			
〈幹事〉	糟野 潤	(龍谷大先端理工)	久保田 哲 央	(アジレント・テクノロジー)	橋本 剛 (上智大理工)
	原賀 智 子	(日本原子力研究開発機構)			
〈委員〉	石橋 千 英	(愛媛大院理工)	岡崎 琢 也	(工学院大先進工)	岡林 識 起 (日大生物資源科学)
	北牧 祐 子	(産業技術総合研究所)	坂 真 智 子	(株) エ ス コ	佐藤 惇 志 (株) ラ イ オ ン
	鹿籠 康 行	(東北大学金属材料研究所)	角 田 誠	(東大院薬)	西崎 雄 三 (東洋大食環境科学)
	原田 誠	(東京科学大理学院化学)	半田友衣子	(埼玉大工)	村山 周 平 (昭和医科大薬)
	山口 浩 輝	(味の素(株))	三原 義 広	(北海道科学大薬)	大江 知 行 (東北大院薬)
	高橋 豊	(EIMS・ソリューションズ株)	勝 又 英 之	(三重大院工)	萩 森 政 頼 (武庫川女子大薬)
	上田 忠 治	(高知大農林海洋科学)	高橋 幸 奈	(丸大カーボンニュートラ ブル・エネルギー国慶研)	

☐ 複写される方へ

日本分析化学会は学術著作権協会（学著協）に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写する場合は、学著協より許諾を受けて複写してください。

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル 3 階
一般社団法人 学術著作権協会

FAX：03-3475-5619 E-mail：info@jaacc.jp

なお、複写以外の許諾（著作物の転載願い等）は、学著協では扱っていませんので、直接日本分析化学会へお尋ねください。

ぶんせき 2026 年 第 1 号（通巻 613）

2026 年 1 月 1 日印刷

2026 年 1 月 5 日発行

定価 1,250 円

編集兼発行人 公益社団法人 日本分析化学会

印 刷 所 〒173-0025 東京都板橋区熊野町 13-11

株式会社 双文社印刷

発 行 所 〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-26-2
五反田サンハイツ 304 号

公益社団法人 日 本 分 析 化 学 会

電 話 総務・会員・会計： 03-3490-3351

編集： 03-3490-3537

FAX：03-3490-3572 振替口座：00110-8-180512

© 2026, The Japan Society for Analytical Chemistry

購読料は会費に含まれています。